

節外浸潤に注目した、転移リンパ節における微小環境の検討

第 1.0 版 2020 年 7 月 17 日

1. 研究の対象

1992 年 1 月から 2020 年 5 月までに当院でリンパ節郭清を含む外科手術を受けた方

2. 研究目的・方法

リンパ節転移は、患者さんのがんの staging に非常に重要です。現在は、リンパ節転移の個数、部位などから staging を行っていますが、その他、どのようなリンパ節転移をしているかなどについてはあまり解析されていません。例えば頭頸部領域においては、リンパ節から外へ浸潤する節外浸潤というものが予後を悪性化するといわれています。

私達は、節外浸潤するリンパ節というものは、節外浸潤しないものと比較し、生物学的に異なる性質を有しているのではないかと考えています。特に、がん周囲の線維芽細胞や免疫炎症細胞、血管構成細胞に特に違いがあると考えています。

本研究では、節外浸潤するリンパ節と節外浸潤しないリンパ節との違いを明らかにすることで、がん細胞の増悪因子を抽出し、新たな治療方法や、治療戦略の開発に結びつけることを目的としています。

1992 年 1 月から 2020 年 5 月までに当院でリンパ節郭清を含む外科手術を受けた方を対象としております。対象となった患者さんの診療録から、その臨床的特徴に関する必要な情報を収集します。また、切除された病変の余剰組織を用いて免疫染色と呼ばれる悪性度を評価する検査を行い、免疫染色の結果を検討します。情報収集の作業に当たる人員は医師をはじめとする医療知識のある研究者です。

研究実施期間は研究許可日～2025 年 7 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

残余病理検体（病理ブロック）、病歴、病理診断情報を用います。

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供は行いません。

5. 研究組織

国立がん研究センター 東病院 病理・臨床検査科

石井 源一郎

国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍分野

坂下 信悟

6. 本研究は、がん研究開発費を資金源として実施し、特定の団体からの薬剤等の提供は受けていません

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：

国立がん研究センター先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 ユニット長
坂下信悟

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL：04-7133-1111

E-mail：ssakashi@east.ncc.go.jp

研究責任者：

国立がん研究センター 東病院 病理・臨床検査科

石井 源一郎